

A photograph of three children sitting on the ground in a park, playing with sticks. The child on the left is wearing a light green jacket and a blue bucket hat. The child in the middle is wearing a blue jacket and a blue bucket hat. The child on the right is wearing an orange jacket and a blue bucket hat. They are all holding sticks and appear to be engaged in a playful activity. The background shows a grassy area with trees and a building in the distance.

# 音をさがしてみよう

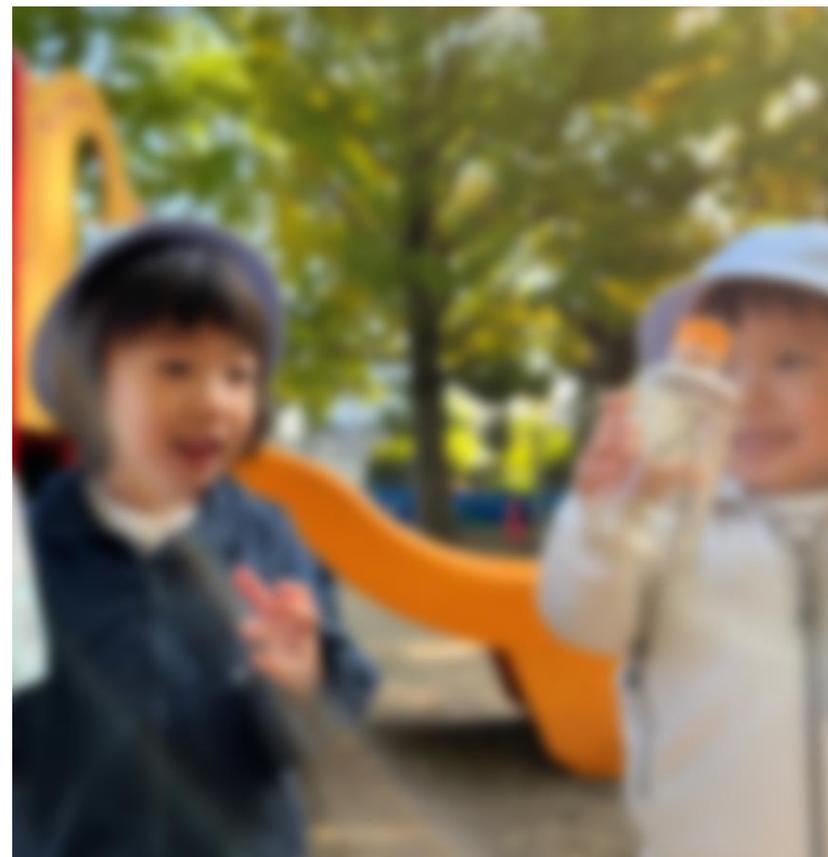
Picoナーサリ和田堀公園  
かぜ組 (2歳児クラス)

# テーマ：音

## 【テーマを設定する】

カリキュラムの中にリトミックを取り入れたり、クリスマスコンサートを通じて楽器遊びに親しむ姿は多い。楽器以外の音に触れたり、日常の身近にあふれている音にも着目し、もっと表現の幅や子どもたちの興味・関心が広がっていくようにと設定した。

	活動内容	時間	人数
①	お外に出てみよう！	30分程度	自由参加
②	楽器に触れてみよう	25分程度	5人
③	お外に出て音を探してみよう！	30分程度	自由参加
④	材料を持って散歩に行こう	30分程度	5人
⑤	手作り楽器を作ろう	20分程度	4人
⑥	表現するって楽しいね	25分程度	自由参加



## 活動①「お外に出てみよう」

### 【環境をデザインする】

どんな音がするかな？

戸外遊びの際に、「何か音がする！！」と

鳥の鳴き声（さえずり）に気付き、興味を持った。

戸外遊びの中で、音に注目した散歩に出かけてみる。

### 【子どもの様子】

- ・ 保育者が音に注目し、「今、何か聴こえたね？」など投げかけると 「鳥さんがお話しているね！」など、耳を澄まし、音を探す姿がある。
- ・ お友だちと保育者の会話に興味を持ち、「こっちから音がするかも」など、想像力を働かせながら、楽しむ姿もある。

### 【振り返りを踏まえた気づき】

- ・ 視覚や触覚に意識した戸外遊びの声掛けが多かったと感じた。臭覚や聴覚を保育者側が意識した声掛けも大事にしていきたいと思った。
- ・ 戸外遊びの中で、「音を探しに行くこと」を目的にした戸外遊びに出てみることも計画立てていきたい。

## 活動② 楽器に触れてみよう！

### 【環境をデザインする】

- ・ 5～6人グループで好きな楽器に触れてみる。
- ・ トライアングル、ウッドブロック、タンバリン・マラカスを準備する。
- ・ 保育者は特に何も伝えず、子どもたちの様子を見る。



### 【子どもの様子】

- ・ ウッドブロックの音を聴いて、「お祭りの音ができる！」と言う。
- ・ ウッドブロックに初めて「触れ、左右の音を聴き比べて、「あれ？なんか音が違うねえ」と言う。
- ・ マラカスを振って「泡の音だね」
- ・ トライアングルに触れて、「ガラスが割れる音だね」「保育園のガラス割れちゃう～！」や手で握ると音が変わること気付く。



### 【振り返りを踏まえた気づき】

- ・ 初めて触れる楽器に興味を持つ。
- ・ 少人数グループで楽器に触れたことで、じっくり子どものつぶやきを聞き、子どもの発想の豊かさ・面白さを感じた。
- ・ 楽器の音を様々な音に例えて表現していた。音を探す探索に出ることも計画していきたい。

# 活動③ 音を探しに行こう

## 【環境をデザインする】

- ・ 戸外遊びの際、どんな音がするかな？と声をかけてみる。

## 【子どもの様子】

- ・ 落ちているものを拾い集めて、様々な音を探してみる。

石と石 石と枝 石と草など

- ・ 石と草をたたき合って、音を鳴らす。

「ねえ、聴こえるでしょう？」嬉しそうな様子。

- ・ 数人で枝を持ち、石をたたき、「カエルの歌」歌う。

## 【振り返りを踏まえた気づき】

- ・ 次回は自然物だけではなく、ペットボトルや空き缶など素材を増やして、音をさらに意識できるようにしていく。
- ・ 様々な自然物を組み合わせ、わずかな音にも聴こえる！と嬉しそうに話す姿から、子どもには組み合わせることが楽しい様子を感じられた。



## 活動④ 材料を持ってお散歩に行こう！

### 【環境をデザインする】

- ・音探しのお散歩に行くことを伝える。
- ・ペットボトルや空き缶を準備する。

### 【子どもの様子】

- ・砂やドングリ、石など自分の入れてみたいものをペットボトルや空き缶に入れて、振っている。
- ・「カランカラン鳴るね」など…自分が鳴らした音を言葉で表現しようとする。
- ・夢中になって、葉や砂を入れることを楽しんでいる児もいた。

### 【振り返りを踏まえた気づき】

- ・子どもたちが自分の聴こえた音をオノマトペで表現しようとする姿があった。
- ・その後、遊びの中に、積み木をピアノを見立てて、遊んだり、音や楽器が遊びや日常の中に出てきたことを感じた。
- ・音を鳴らしながら、歌ったり、身体を動かして楽しむ姿が見られた。





## 活動⑤ 手作り楽器を作ろう！

### 【環境をデザインする】

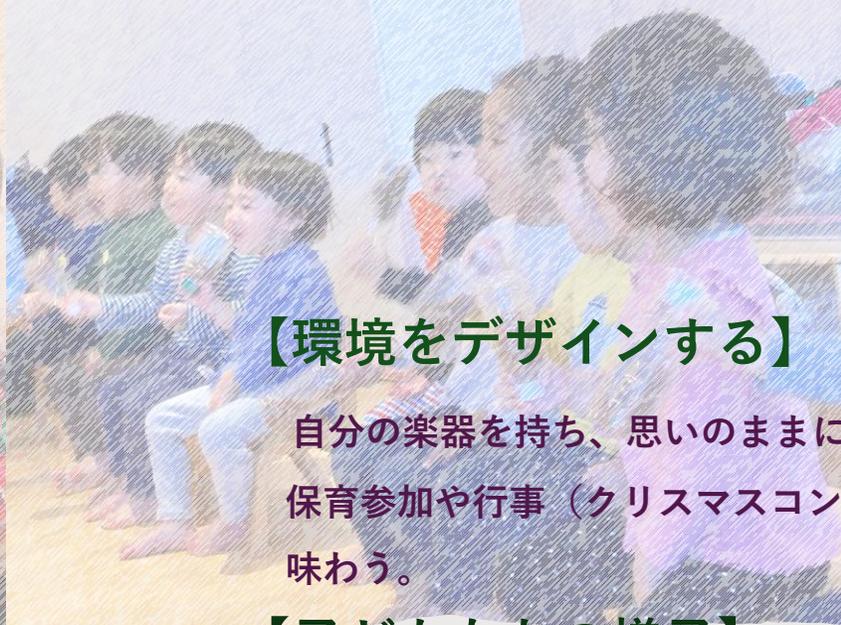
- ・散歩で拾い集めた、木の実、葉・石・煮沸したドングリなどを準備する。
- ・ペットボトルを準備する。

### 【子どもたちの様子】

- ・広い集める際に、入れたいものをイメージしながら集めている子もいた。
- ・途中に音を確認しながら、入れている姿があった。
- ・友だち同士で「なに、入れる？」と話しながら、作る姿があった。

### 【振り返りを踏まえた気づき】

- ・音に親しみ、楽器として捉えて制作を楽しむ姿があった。
- ・様々な素材を入れ、音の違いを楽しむ姿が見られた。
- ・それぞれ鳴らしたりを楽しむ中で、「見て見て！！」と自分の作ったものに愛着を持ち、鳴らす姿を見せ合う姿が印象的であった。



## 【環境をデザインする】

自分の楽器を持ち、思いのままに表現する場を持つ。

保育参加や行事（クリスマスコンサート）を通して人前で表現する楽しさを味わう。

## 【子どもたちの様子】

人前（友だちや保護者）で表現することに恥ずかしそうにしながらも、楽しさを感じている。

繰り返し表現したい！という気持ちを持ち、「もっと！」という児がいた。楽しいね！と言い合う姿が見られた。

## 【振り返りを踏まえた気づき】

思いのままに表現する楽しさを感じていて、さらに見てもらったり、拍手を送ってもらうことで、さらに豊かな表現につながっていくと感じた。

これまでの活動を通して、音や楽器に対して、子どもたちも積極的に取り組む姿が見られたり、表現することが増えた。

活動⑥

表現するって楽しいね